

**製品名: リン酸化 p53 (S376) (15J12) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe05958**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	53kDa

**抗原情報**

遺伝子名	
別名	Antigen NY-CO-13, Cellular tumor antigen p53, Phosphoprotein p53, TP53, Tumor suppressor p53
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P04637
免疫原	ヒト p53 の Ser376 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

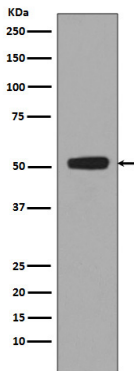
## 背景

細胞周期の調節、特に G0 から G1 への移行において重要な役割を果たします。正常細胞では非常に低濃度で存在しますが、様々な形質転換細胞株では高発現しており、形質転換および悪性化に寄与すると考えられています。p53 は、DNA 結合、オリゴマー形成、および転写活性化ドメインを含む DNA 結合タンパク質です。p53 結合部位にテトラマーとして結合し、増殖および / または浸潤を阻害する下流遺伝子の発現を活性化することで、腫瘍抑制因子として機能すると考えられています。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



カリクリン A とオカタ酸で処理した HEK293 細胞溶解物中のリン酸化 p53 (S376) のウエスタンブロット分析。